

『新疆ウイグル自治区におけるウイグル族の言語と宗教を核とした文化継承と維持
—ウイグル族の教育状況を手がかりとして』

要旨

1978年以降、中国政府が改革開放政策を実施したことにより、80年代の後半から中国経済が著しく発展し、各地域で人口の移動が顕著にみられるようになった。新疆ウイグル自治区では漢民族人口が増加し、漢語の必要性が高まった。よって中国政府は経済発展を目指すための人材育成を目的として、少数民族に対する漢語教育を強化する「双語教育」政策を徹底的に実行した。

新疆ウイグル自治区の主要民族であるウイグル族は、母語としてウイグル語を使用し、イスラーム教を信仰し、イスラーム文化を有するトルコ系民族である。「双語教育」政策の徹底的実施によってウイグル族の漢語能力が上がり、漢民族との文化交流も可能となった。これによりウイグル族の文化の変容過程において漢文化の影響が目立つようになり、民族伝統文化の継承と維持に注目が集まった。もちろんウイグル族が集中して生活している地域(新疆ウイグル自治区)でありながらも、物質的生活の豊かさを追求する姿勢が強まるなか、漢語を習得し、漢民族と接する機会が多くなることは避けられない。このような状況において民族文化をどのようにして継承し、どのように維持していくかは、ウイグル族にとって重要な課題である。

上述したように、ウイグル族が漢語を学ぶことで漢民族との交流が深まり、ウイグル文化が漢文化の影響を受けていると考えられているのが一般的である。しかし、具体的にはどの分野で、どのように影響を受けて、ウイグル文化はどのように変容しているのか、或いは文化がどのように維持されているのかということを検討する必要があると筆者は考えた。本論文では、ウイグル族の例を通して、現代中国における少数民族の教育状況を調査し、教育が伝統文化の継承と維持にどのような影響を与えるかについて言語と宗教を中心に考察し、ウイグル文化の今後の在り方について検討した。本論文は以下の通り第1章から第6章、及び序章と終章から構成されている。

序章

序章では、本研究に至った経緯、目的と研究方法を述べた。先行研究について、教育学、宗教学と文化人類学の分野における研究に分類して整理し、研究の評価できる面と不足している面を指摘することで、政策実施の分析と対策に重点をおく中国側の研究と教育学、宗教

学と文化人類学の理論と研究方法を用いながら、現地の詳細な状況を把握しにくい日本側の研究の不十分点について検討することに心がけた。

第1章

第1章の第1節では、本論文の調査地である新疆ウイグル自治区の概況を述べ、地理的特徴と、各少数民族の分布について検討した。第2節では調査対象であるウイグル族の歴史的沿革とウイグル族の生活習慣及びウイグル語やウイグル文字についてまとめた。

第2章

第2章では、中華人民共和国の民族区域自治法と少数民族教育政策について述べた。民族平等、民族団結が提唱され、1952年に各少数民族地域において「中華人民共和国の民族区域自治法」を施行することが定められた。また少数民族の人材育成を目指して、「少数民族教育政策」を実施し、その特徴として挙げられるのは「双語教育」政策であることを明らかにした。

第3章

第3章では、新疆ウイグル自治区における「双語教育」状況について考察を行った。具体的には本論文の調査地であるコルラ市の主な教育状況、特に「双語教育」が実施された後、各学校の教育状況がどのように変化したのかについて述べた。「双語教育」状況について、事例を挙げながら幼稚園から大学までの学校における「双語教育」状況と家庭における状況について考察を行った。その結果、ウイグル語を教授言語とし漢語を1つの科目として学んでいたのが、漢語を教授言語とし自らのウイグル語を1つの科目として学ぶという状況に変わっており、ウイグル族の生徒たちにとって、母語を学ぶ場所が狭くなっていることが明らかになった。そして子供の進学は親の考えに基づくことが多く、親が自分の生活体験をもとに、子供の学校教育を決める傾向があることが分かった。2000年9月から「双語教育」政策の更なる一歩として、漢民族地域における「新疆高校クラス」が設置され、高等教育期間中に授業料と生活費が免除されることが決定された。これは現在非常に注目されており、経済的に助かるということで、ウイグル族の生徒たちにとって大変魅力的で人気を集めている。筆者は「新疆高校クラス」の生徒たちを調査対象として、アンケート調査とインタビュー調査を行い、彼らは自分が「新疆高校クラス」に合格できたことを誇りに思っており、漢語を習得できたことは自分にとってプラスで

あり、これを武器に勉強や仕事の面において十分に活用できると考えていることが分かった。本調査によって「双語教育」政策が徹底して実行されたことから、ウイグル族の言語教育状況が大きく変わり、漢語教育が中心となっていたことが明らかになった。

第4章

第4章では、新疆ウイグル自治区におけるウイグル族の言語文化の継承と維持について考察を行った。具体的には、本論文の調査地である新疆ウイグル自治区のコルラ市で生活しているウイグル族の言語使用意識と言語使用状況に関連する調査を行い、少数派が自らの言語と多数派の言語を同時に学ぶことで、母語に対する意識はどうか、言語意識と実際の言語使用状況はどうかについて検討した。調査結果から漢語学習の進行により、ウイグル族、特に大人たちの間で、母語を大切にして母語を使用し続けて行こうといった言語意識が比較的高くなっており、それに対して子供たちの母語を使用する意識は低いものであった。そして世代が若くなればなるほど、漢語の使用が目立ち、母語の大切さを意識している大人の間でも、状況によっては漢語を使用する状況が存在しており、特に漢民族と話す際の言語使用状況は漢語が中心となっていた。したがってウイグル族の母語を大切にするという言語意識と、実際の使用状況との間にずれが存在していることが明らかになった。

第5章

第5章では、ウイグル族におけるイスラーム教の受容について考察を行い、現代ウイグル文化におけるイスラーム教の要素などについてまとめた。ウイグル族の宗教文化と言えばイスラーム教と密接に関連しており、イスラーム教はウイグル族の伝統文化に深く影響を与えていること、一部のイスラーム教の教義が日常生活の各部分に深くかかわるようになり、イスラーム教の教義そのものがウイグル族の生活習慣として定着してきたことを明らかにした。

第6章

第6章では、新疆ウイグル自治区におけるウイグル族の宗教文化の継承と維持について考察した。具体的には、ウイグル族が宗教文化を学校教育、親からの家庭教育と各儀式を通して継承、維持していることを取り上げた。中華人民共和国の建国までに宗教教育が中心となり家庭の中、モスクなどに設置されたコーラン学校を利用して行われていた。後に、新式学校教育が始まってからも学校教育の中で宗教教育が行われてイスラーム教の教義が次世代に伝えられてきた。中華人民共和国建国後、学校教育と宗教教育が分離されたことで、学校教育の中で行われる宗教教育がなくなり、一部のモスク、または宗教聖職者の家で宗教教育を受け、

宗教文化が学ばれてきたが、1960年から徐々に宗教教育が全面的に禁止され、宗教教育を行うことが不可能となったことを取り上げた。そして、調査地のコルラ市近くに位置している農村と町のウイグル族家庭の例を挙げながら彼らの一日の生活について考えた。調査から、宗教的儀式を行うことで教える側に立つ者は、政府の許可を得て自らの村の宗教活動に参加し、婚姻や葬儀という通過儀礼の場所を利用するなど自らの実践を通して、イスラーム教の教義を次世代に伝えていることが分かった。教えられる側は宗教的儀式に参加して宗教文化を学ぶ機会が徐々に減り、イスラームの教義を学ぶ場所は家庭だけに留まり、宗教文化を習得する唯一の方法は親から学ぶことになっていることも明らかになった。

終章

終章では、新疆ウイグル自治区におけるウイグル族と言えば、ウイグル語を話し、イスラーム教を信仰する中国西部に生活している人々であると認識する人が多いなか、ウイグル族自身も、ウイグル語とイスラーム教を取り上げることで、自分を中国の他の民族と区別し、自分が他の民族と異なるウイグル族であるという民族アイデンティティの確立を強調している。現在、ウイグル族の主要使用言語が漢語に変わりつつあり、ウイグルの人々はウイグル語が危機に瀕していると感じており、ウイグル文化が漢文化に同化してしまうことを恐れ、伝統文化の継承と維持を強調している。しかし、漢語で学校教育を受け、宗教教育が全面的に禁止されたことで、言語使用状況は大きく変化し、宗教文化の伝達も難しくなっている。特に若い世代の中で宗教知識を身につけられる者が極めて少なくなっていることも事実である。言語文化と宗教文化は「双語教育」をはじめとする漢文化の影響を受け、伝統文化の継承と維持は厳しい道のりを歩み、ウイグル語の使用が減少し、イスラーム教の教義を学ぶ機会がさらに減少し、ウイグル語を話せない、イスラーム教徒でありながらイスラーム教の儀式が継承できない者が増えていく。中華人民共和国という国家体制が続き、中国における「双語教育」政策や宗教と教育の分離政策が継続していくならば、ウイグル族の民族伝統文化の継承と維持が徐々に新しい文化変容、漢文化への同化に迫られていくことになる結論付けた。

今後の課題として、中国国外に住んでいるウイグル族について調査し、母語と離れて生活するなかで、文化の継承と維持にどのような形態が存在しているのかを把握するために在日ウイグル族の状況について研究を続けていくことを挙げる。